



第6回こども・若者アンケート結果（まとめ） ～新潟県立文書館の利用について～



アンケート調査を実施した理由

新潟県立文書館は、令和7年度の1年間で1,546人の方々からご来館いただきました。しかしながら、同じ建物の中にある新潟県立図書館に比べると来館者数が少なく、知名度が低いことが課題となっています。

また、おいでくださる利用者は高齢者の方々が圧倒的に多い傾向にあり、小・中学生、高校生、大学生など若年層の利用が低迷していることもまた事実です。

当館は、新潟県の教育、学術及び文化の発展のために寄与するために設置された施設ですから、特定の年齢層に偏ることなく、広く県民の皆様の学びに役立つことが求められます。

このアンケートを通じて、若い世代の県民の皆様が、当館に対してどのようなことを望んでいるのかを探り、今後の業務の改善に役立てたいと考えます。

アンケート調査の内容

対 象：こども・若者モニターの登録者
(小学生、中学生、高校生、大学生等・20歳代、
子育て中の保護者)

方 法：ウェブアンケート

期 間：令和8年2月4日から2月23日まで

回答数：308人

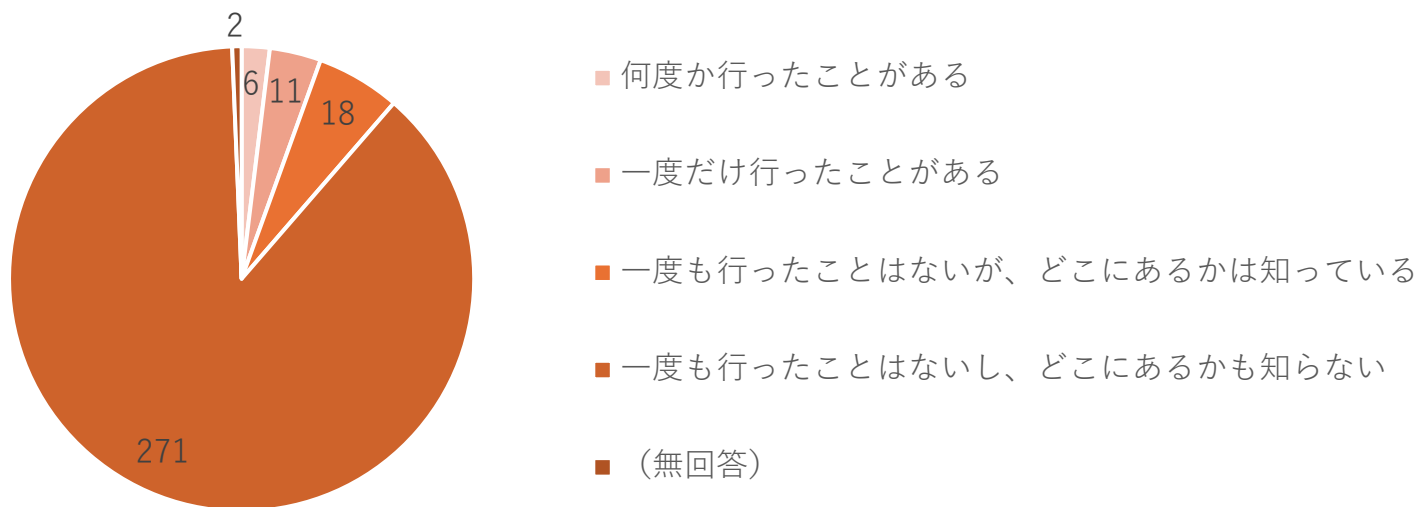
(内訳)

小学生	中学生	高校生	大学生等・ 20歳代	子育て中の 保護者
32人	64人	9人	35人	168人

調査テーマ：県立文書館の利用について

アンケート結果①

質 問：新潟県立文書館について、現時点でのあなたの来館状況を一つ選んでください。



結 果：これまで新潟県立文書館に行ったことがあると回答した人は、全体の5.5%に留まりました。

アンケート結果①

新潟県立文書館のことを前から知っていたと回答したのは11.4%と多くはありませんでしたが、「家族・親戚からの紹介」や、「インターネット」などをきっかけに当館を知ったということがわかりました。

また、来館したことがあると回答した人は5.5%で、そのほとんどの人が、当館で「資料を閲覧した」と回答しました。

【問題点】

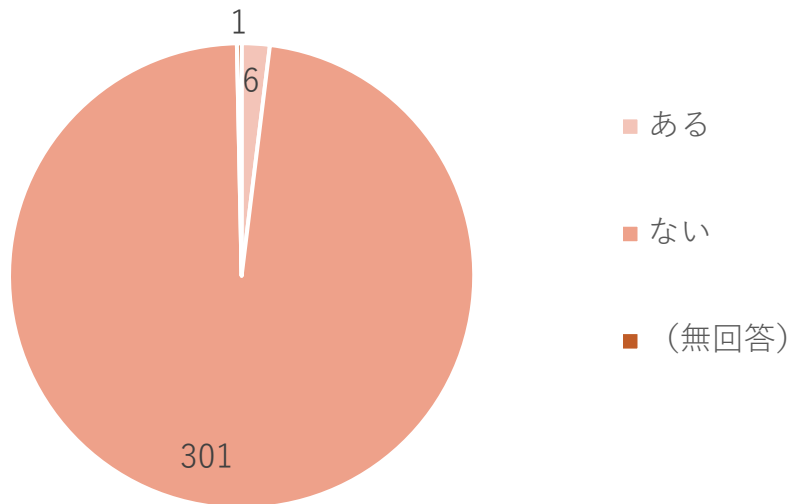
実に88%もの人が「一度も行ったことはないし、どこにあるかも知らない」と回答



まずは、多くの県民の皆様に、県立文書館の存在を広く知ってもらうことが必要

アンケート結果②

質問：自宅など館外でも利用できる新潟県立文書館のサービスを利用したことがありますか。



結果：これまで館外サービスを利用したことがあると回答した人は、全体のわずか1.9%に留まりました。

アンケート結果②

県立文書館の館外サービスを利用したことがあると回答した人のすべてが、「公式ホームページで資料を検索した」と回答しました。このことから、少数ながらも当館の公式ホームページが資料の検索に役立っていることがわかりました。

【問題点】

公式ホームページが資料検索でしか利用されていない



「だれでも、いつでも、どこでも」という生涯学習の理念に沿った施設であるよう、館外サービスについても広く知ってもらうことが必要

アンケート結果③

質問：新潟県立文書館は、どのような施設だと思いますか。
(複数回答可能)

	小学生	中学生	高校生	大学生・ 20歳代	子育て中 の保護者	計
昔の文書や地図・新聞などが保管されている	27	43	8	28	117	223
昔の文書や地図・新聞などを閲覧することができる	22	30	6	26	91	175
新潟県の歴史についての講座・講演会を実施している	11	16	3	10	27	67
新潟県の歴史についての展示を実施している	20	25	3	15	42	105
新潟県の歴史について調べたい時、相談にのってくれる	10	16	4	7	24	61
その他・無回答	2	9	0	0	23	34

アンケート結果③

結果：どの年代においても「昔の文書や地図・新聞などが保管されている」というイメージが大きいことがわかりました。

【問題点】

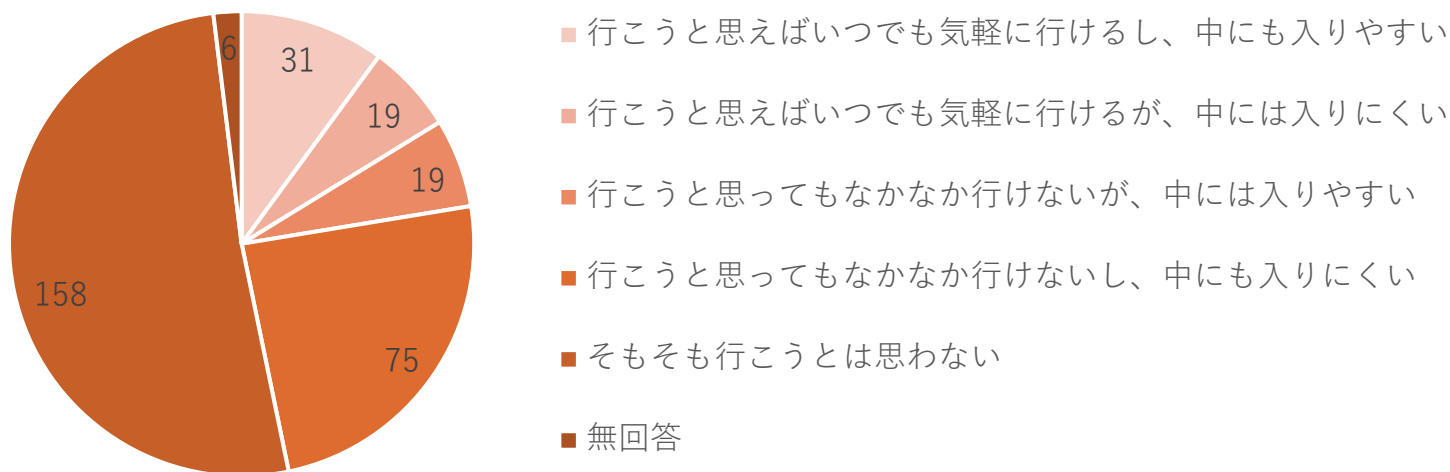
「新潟県の歴史についての講座・講演会を実施している」、
「新潟県の歴史について調べたい時、相談にのってくれる」というイメージが小さい



いずれも当館の重要な役割であるため、従来の方法にとらわれずに広報を行うなど積極的な情報発信が必要

アンケート結果④

質問：新潟県立文書館の行きやすさ・入りやすさについて、現時点でのあなたの状況を一つ選んでください。



結果：実に75.6%もの人が「行こうと思ってもなかなか行けないし、中にも入りにくい」、または「そもそも行こうとは思わない」と回答しました。

アンケート結果④

【問題点】

「そもそも行こうとは思わない」と回答した人が多い



一度は行ってみたいと思ってもらえるような魅力づくりが必要

【問題点】

居住地域を問わず「行きにくい」、「中に入りにくい」と回答した人が多い



遠方からの来館に役立つ公共交通機関の各種割引制度をSNS（公式X）で紹介したり、閲覧室の扉を常時開放して入りやすくしたりするなどの工夫が必要

アンケート結果⑤

質問：新潟県立文書館で何かを学んだり調べたりするとしたら、どんなことを学んでみたい・調べてみたいですか。（複数回答可能）

	小学生	中学生	高校生	大学生・20歳代	子育て中の保護者	計
自分の住んでいる地域の歴史	26	30	6	15	82	159
自分の祖先・ルーツを知る手がかり	15	14	1	18	51	99
新潟県の歴史上の著名人	16	10	2	11	23	62
新潟県の神社や寺院	14	16	2	11	48	91
新潟県の過去の災害	11	14	3	17	34	79
新潟県内の史跡	10	6	4	7	23	50
くずし字の読み方	7	9	0	1	13	30
その他・無回答	3	11	0	1	26	41

アンケート結果⑤

結果：どの年代においても新潟県の歴史について学びたいと思っている人が一定の割合存在し、特に「自分の住んでいる地域の歴史について調べたい」、「自分の祖先・ルーツを知る手がかりについて調べたい」と考えている人が比較的多いことがわかりました。

【問題点】

歴史についての学びのニーズがあるにもかかわらず、当館の利用者が少ない



当館が、いわば“新潟県の歴史情報センター”であることをもっと前面に打ち出した広報が必要

アンケート結果⑥

質問：新潟県立文書館で、どんなイベントがあったら参加してみたいですか。（複数回答可能）

	小学生	中学生	高校生	大学生・20歳代	子育て中の保護者	計
くずし字の読み方を学べる初心者向けの古文書講座	9	14	0	4	37	64
専門的な知識を必要としない歴史講演会	9	13	3	8	51	84
昔の貴重な資料に直接手で触れることのできる展示会	15	15	1	10	35	76
マイクロフィルムに記録された資料を見てみる体験イベント	8	9	3	5	21	46
普段は入れない書庫に入ることができるバックヤードツアー	18	18	3	18	53	110
自宅にある古い文書についての相談会	5	6	0	5	12	28
昔の資料を整理したり修復したりする体験イベント	12	15	3	9	47	86
その他・無回答	1	12	0	4	19	36

アンケート結果⑥

結果：どの年代においても「普段は入れない書庫に入ることができるバックヤードツアー」に参加してみたいと回答した人が多いことがわかりました。

【問題点】

選択肢の中にはすでに当館で実施しているものもあるが、若年層にはその情報が十分に届いていない



選択肢に掲げた内容は、すぐにでも実施可能なものが多いことから、ニーズの高い、親子で体験できるようなイベントの実施をまず検討し、若年層の利用拡大を図りたい

アンケートのまとめ

1 アンケート結果から考えたこと

- ・新潟県立文書館のことを知らなかった人、一度も行ったことがない人が若年層に多いことは謙虚に受け止めなければならない。
- ・しかし、新潟県の歴史について学んでみたいと思っている人々は、若い世代にも確実に存在しており、その人たちにどうやって当館の情報を届けるかが重要である。
- ・参加体験型のイベントなどのきっかけさえあれば、当館に足を運んでくれる「未来の利用者」は、結構多いのではないかな。

アンケートのまとめ

2 今後取り組んでいきたいこと

- ① 若い世代が日頃親しんでいる SNS を使い、当館の所蔵資料や主催講座を紹介するなどして、積極的な情報発信 を行う。（公式Xはすでに開設済みであるが、より若者に親しまれていると思われる インスタグラム 等の導入も検討する）
- ② 県立図書館のエントランスから2階の当館閲覧室までの動線にわかりやすい案内図を掲示したり、閲覧室の扉も可能な限り常時開放 したりして、初めての人でも 気軽に立ち寄れる雰囲気づくり を進める。

アンケートのまとめ

2 今後取り組んでいきたいこと

- ③ 令和8年10月31日（土）に開催する予定の「歴史講演会」においてオンライン配信を行い、遠くてなかなか来館することができない人でも気軽に参加・聴講できるようにする。
- ④ 令和8年11月8日（日）に開催する予定の「学びピア TOYANO」（県立図書館、県立生涯学習推進センターとの連携イベント）において、書庫のバックヤードツアーを開催する。



このたびはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様のご来館をお待ちしております。

新潟県立文書館